



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

災害財政にみる国と地方のゆれる天秤、 日本の災害復興財政のいま

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

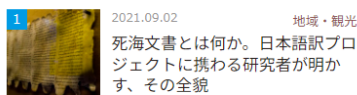
学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

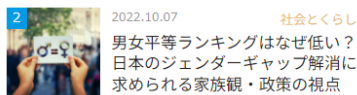
「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 \よく読まれている記事！/



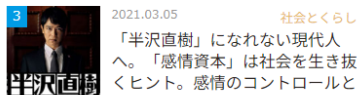
2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
93497Views

OTEMON VIEW編集部



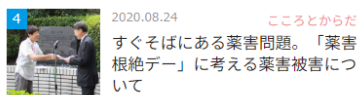
2022.10.07 社会と暮らし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
62307Views

OTEMON VIEW編集部



2021.03.05 社会と暮らし
「半沢直樹」にない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
33744Views

OTEMON VIEW編集部



2020.08.24 こころからだ
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について
28858Views

OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

被災地域の復興をいかに国が支援するかという「災害財政」は、災害大国といわれる日本において、常に考え続けなければならない国家的、社会的な課題でもあります。

経済学部・細井雅代教授は、今年2月に刊行した単著『地方財政改革（1989～2019年）：統治の観点と自治権の確保』（2024年2月、日本経済評論社）において、地方財政改革の変遷を概観し、国家統治とバランスのとれた地方分権のあり方を、地方財政制度の運用の文脈から提言しています。今回は同書でも言及している「災害対応の財源スキームとその役割」について、戦後からの変遷や平成期の震災から紐解いていきます。

（以下は主なポイント）

戦後から発展した災害財政制度

○2 本立ての財源スキームで地方負担を軽減

○被災地域の持続可能性を残すために

平成期の災害財政制度や被災者支援の変化

○東日本大震災は、災害財政の到達点

○阪神・淡路大震災を教訓にした生活再建への視点

能登半島地震から実現したい新たな支援の形

○生活再建を目的とした被災者支援制度の拡充

○地域発信で考える、生活再建となりわい再建の重要性

○災害財政と生活再建支援の両輪で復興を加速させる

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/3315/>

災害財政にみる国と地方のゆれる天秤、日本の災害復興財政のいま



記事イメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 仲西・織田